

運転手、道路情報板に、“気を取られ”、“追突”

会社は適切な教育や運行指示をしておらず

2015年07/29 10:48

東京都の首都高速道路で昨年8月、マイクロバスが大型バスに追突、10人が軽傷を負う事故があり、事業用自動車事故調査委員会は29日、マイクロバスの運転手が速度超過した上、道路情報板に気を取られたのが原因とする報告書を公表した。報告書によると、運転手は東京都内の貸し切りバス会社に勤務。2011年の採用時に受けた適性診断で「注意の配分が十分でない」などと指摘されたが、会社は適切な教育や運行指示をしておらず、事故調は「安全管理の不徹底が事故につながった可能性がある」と指摘した。

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる車間不足と注意力不足

「ヒヤリ」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

トラックが停止中のトラックに“追突”後、350m先の車庫に衝突

◆追突したトラック運転手の“前方不注意”◆

2015年7月10日(金)14時26分

9日午後4時半頃、山形県の国道で、トラックが停止中のトラックに追突した後、約350m先の車庫に衝突する事故があり、2人が重軽傷を負った。この事故で、トラックを運転していた男性(52)が左の太ももの骨を折る大ケガをしたほか、追突されたトラックの男性も軽いケガをした。警察の調べに対し、追突したトラックの運転手は「追突した後、アクセルペダルが踏んだ状態のまま戻らなくなった」と話しているという。警察は、トラックの男性が前をよく見ていなかったことが事故の原因とみている。

大型トレーラー“横転” 運転手の46歳男性が重傷

2015年7月29日(水)12時35分

29日午前6時ごろ、神戸市の第二神明道路で、大型トレーラーが横転し、道路をふさいだ。運転していた男性(46)が右足骨折の重傷を負った。

コンビニ店に車が前向きに突っ込み 客らけが、80歳男性運転

2015年7月29日(水)15時44分

29日午前10時ごろ、三重県のコンビニ店で、従業員から「お店に車が突っ込んだ」と110番通報が入りました。警察によりますと、乗用車が前向きに突っ込み、店の入り口付近にいた客の女性が右足の骨を折る重傷、別の客の男性が肩を打撲する軽いけがをしました。80歳の男性が運転していました。

“飲酒運転” 2人死亡、懲役14年

2015年7月17日(金)7時44分

車を酒気帯び運転して一方通行を逆走し、乗用車と衝突して夫婦を死亡させたなどとして自動車運転処罰法違反(危険運転致死)と道交法違反の罪に問われた、無職の男性(55)の裁判員裁判の判決公判で静岡地裁は16日、懲役14年(求刑懲役17年)を言い渡した。裁判長は「飲酒運転の発覚を恐れ、追跡する警察車両から逃げるため危険運転をした」と指摘した上で、「警察官に発見された際もうそをつき、事故を繰り返す否定した。現場から逃走したことは明らか」と断じた。判決によると、被告は昨年8月23日午前1時45分ごろ、市道で乗用車を酒気帯び運転し、一方通行を逆走して時速50キロ以上の速度で交差点に進入、同市の会社員の男性=当時(35)=の乗用車に衝突し、男性と妻=同(33)=を死亡させた上、そのまま逃走した。